



景気対策

総額4億円の緊急経済対策

市では、三菱自動車工業製の新車購入への助成をはじめ、市の公用自動車として同社製の軽自動車10台購入、学校の耐震化や道路改修の公共事業の前倒しの実施など、総額約4億円の緊急経済対策を実施します。

三菱関連企業を支援



公用車に三菱車購入

ウイングバレイ

先着
200台

■緊急経済対策

三菱自動車工業製の 新車購入に10万円助成

自動車検査証の交付日が3月2日(月)から8月31日(月)までの車

市民が市内に本社を置く法人が購入した三菱自動車工業製の新車1台につき、10万円を助成します。対象となる車は、3月2日(月)から8月31日(月)までの日付で自動車検査証が交付されたものです。先着200台で、市民・法人ともに各1台まで。

申請方法 所定の申請書に必要事項を記入し、「購入した車の自動車検査証が販売店が発行する新車の注文書や契約の分かる書類の写し」と、「申請する人(法人)の住所か所在地が確認できる書類」を添えて提出。3月2日(月)から受付開始

申請先・問い合わせ 商工観光課 (☎0277)

200台を上限に、三菱自動車工業製の軽自動車1台につき10万円の購入助成と、市の公用自動車に、三菱自動車工業製の軽自動車約10台を購入します。

いずれも、市内に三菱自動車の関連企業が多く、税収や雇用面で市に大きく貢献していることから、議会の承認を得て支援を行うものです。予算の3800万円は市長の専決処分決定しました。

また、前倒しで実施する公共事業は、小・中学校の耐震化や道路・水路の改修など。この補正予算は、2月16日開催の臨時市議会で審議され、原案どおり可決されました。

緊急経済対策の財源は、国の2次補正による「地域活性化・生活対策臨時交付金」の約2億6000万円や国庫支出金約4000万円、市の一般財源約1億円です。

子育て支援

8月子ども議会を開催

問い合わせ 子育て支援係 (☎0277)

中学生15人を子ども議員に任命。子ども条例の策定に一役



議場で行われた子ども議員の任命式

子ども条例の策定や市政に子どもの視点で意見を出してもらおうと、市内の中学1、2年生15人を子ども議会の議員に任命しました。

任命式は1月19日、議場で行われ、市長から子ども議員一人ひとりに任命書が手渡されました。中国、韓国、ブラジルの外国籍をもつ議員も含まれ、多文化共生の議論も目指した構成になっています。

任命式の後、子ども議員は、

議会の仕組みや一般質問の仕方などを市職員から学びました。今後は、今年8月に開催される子ども議会に向け、一般質問のテーマの絞り込みや質問文を作る作業に入ります。

子ども議会の議長を務める高谷知宏さん(総社東中2年)と金珉柱さん(総社西中1年)は、「自分たちの手で良い総社を作りたい」、「子育て王国が進んでほしい」と、それぞれ抱負を話してくれました。

現在交付している「ももっこカード」の有効期限が3月31日のため、4月1日以降利用できる新しい「ももっこカード」を交付します。

小学校に通う子どものいる家庭には、学校を通じて交付します。その他の家庭には3月1日以降、こども課から新しいカードを送付します。

新しいももっこカードを交付

「ももっこカード」は、子育てを応援するため、妊娠中の人や小学校6年生までの児童のいる家庭に交付されるカード。このカードを提示することで、協賛店が独自に設けた「割引」や「プレゼント」などのサービスを受けることができます。

現在、県内で約1700の店舗が協賛。市内の協賛店舗は、携帯サイトの協賛店ナビ(<http://www.kibiji.ne.jp/mmkc/>)で、店名や住所、サービス内容を見ることができます。

ごみの分別と減量を！ご協力を！



小野生活環境部長

▼生ごみの水気はよく切って出しましょう。EMボカシ(市で無料配布)を使い生ごみを堆肥化するなどし、生ごみの減量に努めましょう。

問い合わせ 環境課ごみ対策係 (☎0277)

家庭から出る燃やせるごみの約30%は回収して再利用できる紙や布類。大切な資源です。きちんと分別しましょう。

▼資源ごみ(空き缶・空きびん・古紙・古布・ペットボトル・白色トレイ)は、月1回の資源ごみの収集日に出してください。

▼新聞・雑誌・紙パック・ダンボール・古布・空き缶を出すときは、できるだけ地域の集団回収に協力しましょう。